

令和2年豪雨災害対策本部 岐阜県・長野県 視察報告

概要

令和2年7月20日(月)、鈴木 俊一 本部長代理を団長とする自民党調査団は、岐阜県高山市・下呂市、長野県飯田市を訪問し、令和2年7月豪雨災害による被害状況について、現地視察・意見交換を行った。

調査団

鈴木 俊一 総務会長・令和2年豪雨災害対策本部長代理
佐藤 信秋 災害対策委員長代理・令和2年豪雨災害対策本部 事務局長代理

(岐阜県連)

布俣 正也 県議会議員(高山市選出)
今井 政嘉 県議会議員(下呂市選出)

(長野県連)

宮下 一郎 副会長・衆議院議員
宮島 喜文 副会長・参議院議員
小池 清 県議会議員(県議会議長)

日程

8:45	富山空港着
10:20	岐阜県高山市 上宝町・長倉地内 現地視察(路側決壊現場) 【対応者】 國島芳明 高山市長 河合孝憲 副知事 布俣正也 県議
11:10	岐阜県高山市 丹生川町・久手地内 現地視察(土砂流出現場) 【対応者】 國島芳明 高山市長 河合孝憲 副知事 布俣正也 県議
13:10	岐阜県下呂市 小坂町・門坂地内 現地視察(路面陥没・JR高山本線被災現場) 【対応者】 山内 登 下呂市長 河合孝憲 副知事 今井政嘉 県議
15:40	長野県飯田市 消費者生活センター 被災状況説明 【出席者】 牧野光朗 飯田市長 宮下智博 松川町長 壬生照玄 高森町長 勝野一成 阿南町長 熊谷秀樹 阿智町長 小池正充 平谷町長 金田憲治 下條町長 大久保憲一 根羽町長 清水秀樹 売木町長 長嶺誠一 天龍町長 横前 明 泰阜町長 市瀬直史 喬木町長 下平喜隆 豊丘町長 柳島貞康 大鹿町長

◆ 高山市・上宝町長倉地内 路側決壊現場

- 上宝町長倉地区は、614世帯、1304人が生活をする奥飛騨温泉郷の地域。住民および奥飛騨温泉郷を訪れる観光客の大動脈である国道471号・158号線の路側決壊により一時全面通行止めとなる（現在は片側交互通行）。
- 岐阜県より岐阜県内の被害状況について説明
 - ・ 九州地方における降水量と比較しても遜色のない量の豪雨が岐阜県、特に飛騨地方を襲った。
 - ・ 県内6市において平成30年7月豪雨以来となる大雨特別警報が発表。
 - ・ 高山市（2か所）および下呂市（1か所）の観測所では観測史上1位となる24時間降水量が観測される、
 - ・ J R高山本線（飛騨小坂～渚間）が不通、道路は261箇所、河川186箇所、砂防施設26か所、農地197箇所、農業用施設144箇所、林道180路線が被害を受ける。



（国道路側決壊現場）



（現地担当者からの説明）

＜岐阜県 河合孝憲副知事より要望書を手交＞

- ① 激甚災害の早期指定
- ② 地方交付税等による財政支援
- ③ 公共土木施設等の早期復旧に向けた支援
- ④ 観光振興への手厚い支援の実施
- ⑤ 被災者を新型コロナウイルスから守るための支援等国土強靱化の取組の充実



◆ 高山市・丹生川町久手地区 土砂流出現場視察

- 丹生川町久手地区は、山の斜面崩落により国道158号線に土砂が流入。一時全面通行止めとなるが、現在は片側交互通行。土砂流入現場のすぐ横には住宅もあり、二次被害の懸念も高く早期の応急復旧が必要な状況。



(復旧作業状況)



(斜面崩落現場)



(現地住民の方より被災状況説明)

<高山市 國島芳明市長より要望書手交>

- ① J R 高山本線の早期全面復旧の促進
- ② 国道41号の早期全般復旧の促進
- ③ 道路・河川等の災害復旧事業の促進
- ④ 気候変動を踏まえた災害に強い河川整備の促進
- ⑤ 災害に強い道路整備とネットワーク構築の促進
- ⑥ 強靱かつ持続可能な電気供給体制確立の促進
- ⑦ 国土強靱化の更なる促進



◆ 下呂市・小坂町門坂地区 路面陥没現場・J R高山本線被災箇所 視察

- 岐阜県内において最も被害が大きい地域のひとつ。路面陥没により国道41号線は全面通行止めの状態。
- 飛騨川護岸の決壊により住宅の基礎部分が侵食される等の被害。
- 同地区において、J R高山本線の洗堀による線路擁壁下部の露出、道床の流出、土砂の流入により、運転見合わせの状態が続いている。J Rの運休により高校生の通学が不可能となっていたが、代替バスが運行を開始。



(飛騨川護岸決壊現場)



(J R高山本線 被災現場)

<下呂市 山内登長より要望書を手交>

- ① 激甚災害への早期指定
- ② 飛騨地域の観光・物流の基盤路線である国道41号の早期・改良復旧
- ③ J R高山本線の早期復旧
- ④ 飛騨川の河川改修事業の着実な実施
- ⑤ 砂防施設や治山施設の早期機能回復・新たな防災対策の推進
- ⑥ 観光による商工業の本格的な回復に向けた強力な支援
- ⑦ 一連の災害報道による風評被害への対応
- ⑧ 特別交付税の優先的な配分への配慮、地方債の災害復旧事業の手続きの簡素化、農地・農林漁業施設の充当率の拡充



(現地担当者からの説明)

◆ 飯田市・長野県南信地域における被災状況に関する意見交換

- 長野県飯田市において、長野県および関係する南信地域の14市町村の市町村長が集まり、被災状況について報告を受ける。

(長野県)

- ・ 天竜川の決壊により飯田盆地の広範囲が水没する被害となった昭和36年の梅雨前線豪雨に匹敵する災害。
- ・ 5市町村で大雨特別警報が発令されるなど、これまでにない雨量の豪雨が長野県を襲った。
- ・ 未だ被害箇所が判明していないが、農業・林業関係、公共土木施設を中心に、673箇所、124億1700万円の被害。
(7月17日現在)



(天龍村／長嶺 誠一 村長)

- ・ 国道418号：のり面が崩落し全面通行止めに。
- ・ J R 飯田線の斜面の崩落により電気設備が損傷。
- ・ 運転再開まで約3ヶ月を要する見込み。



(天龍村長)



(喬木村長)

(喬木村／市瀬 直史 村長)

- ・ 溪岸上部の山腹が崩落したことにより、県道上飯田線に土砂が流入。通行止は解除されたが、不安定土砂が堆積するなど非常に不安定な状況。

(大鹿村／柳島 貞康 村長)

- ・ リニア中央新幹線の工事区間において地滑りが発生。
- ・ 村の予算規模を超える被害となっている。
- ・ 国・県やJ R 東海と協力した復旧が必要。



(大鹿村長)



(飯田市長)

(飯田市／牧野 光朗 市長)

- ・ 溪流内の不安定土砂が豪雨による増水により国道に流出。不安定土砂が未だに多量に堆積しているため、二次災害の恐れがあることから、早急の対応が必要な状況。



令和2年7月豪雨による災害の
早期復旧に関する緊急要請

令和2年7月20日

岐阜県知事 古田 肇

令和2年7月豪雨による災害の 早期復旧に関する緊急要請

本県では、梅雨前線の影響により、平成30年7月豪雨以来の大雨特別警報が発令されるなど、記録的な大雨となりました。

このため県内では、7月20日現在で住家等の半壊14棟、一部損壊64棟、床上浸水75棟、床下浸水282棟に上るとともに、道路、河川、鉄道、農地、農業用施設、山地、林道等多方面にわたって被害が発生しており、今後詳細が判明する中でさらに被害が拡大することが見込まれる状況です。

これらの被害は住民の生活基盤と、本県の産業基盤を深刻に脅かすものであり、現在、被災地域においては、早急な災害復旧に向けて最大限の努力をしているところです。

つきましては、次の事項について、緊急に特段のご配慮をお願いいたします。

記

1 激甚災害の早期指定

県内各地で県民生活、経済活動等に甚大な被害が生じている実情にかんがみ、早急に激甚災害として指定すること。

2 地方交付税等による財政支援

災害復旧事業及び各種災害対策の多額の財政需要に対応できるよう、特別交付税の配分、災害復旧事業及び災害関連事業予算の確保に特段の配慮をすること。

3 公共土木施設等の早期復旧に向けた支援

被災箇所への早期復旧に向けて、公共土木施設、農地、農業用施設、山地、林道等の災害査定を早急かつ円滑に実施すること。

また、飛騨地方の周遊観光における主要道路でもある国道41号について早急な復旧を図るとともに、並走するJR高山本線の早期復旧に向けて東海旅客鉄道(株)と連携・協力を図ること。

4 観光振興への手厚い支援の実施

「G・T・トラベル事業」について、被災地域向けの枠を確保するなど、復旧状況に応じた実施を可能とするとともに、利用時期の分散を図るため、平日割の導入などを検討すること。

5 被災者を新型コロナウイルスから守るための支援等

新型コロナウイルス感染防止のため、避難所の増設、感染防止資機材の充実などに対し恒常的に財政支援を行うとともに、ボランティアを安心して受け入れるための全国的なルールを策定すること。

6 国土強靱化の取組みの充実

被災箇所の原形復旧を行うのみならず、気候変動への適応を進める「適応復興」の考え方を踏まえて国土強靱化の取組みを強化するとともに、「防災・減災、国土強靱化のための3か年緊急対策」終了後も、引き続き、防災・減災対策に係る予算を計画的かつ安定的に確保すること。

緊急要望書



高山市・飛騨市・白川村

令和2年7月豪雨による 災害復旧に関する緊急要望

平素から岐阜県飛騨地域の社会基盤整備等に関し、格別のご高配を賜り、厚く御礼申し上げます。

岐阜県飛騨地域では、令和2年7月豪雨により、河川の氾濫や土砂災害が多数発生し、家屋の浸水被害、農地や山林の崩壊等に加えて、地域の生命線である道路、鉄道の寸断など、甚大な被害をもたらしました。

特に、下呂市小坂町門坂地内の国道41号においては、大規模な道路流失が発生し、通行止めになっているとともに、道路に近接するJR高山本線についても、飛騨小坂駅から渚駅間が運転見合わせとなっています。

また、国道158号においては、高山市丹生川町地内や松本市安曇地内で多数の土石流被害を受けており、不通や時間通行規制の状態となっています。

国道41号と158号、JR高山本線の被災による不通は、当地域にとりましてはライフラインを絶たれることに等しく、住民の日常生活に不都合が生じているとともに、相次ぐ宿泊のキャンセルなどにより飛騨地域の主要産業である観光や経済にも深刻な影響を及ぼしています。

私共も迅速な復旧作業によって、住民生活の安全・安心の確保と地域経済の回復に全力で取り組んでまいります。現状の緊急性をご理解いただき、次の事項について、格段のご高配を賜りますようお願い申し上げます。

要 望 事 項

○ J R 高山本線の早期全線復旧の促進

- ・ J R 高山本線の不通は、高校生の通学をはじめ、住民の日常生活に不都合が生じているとともに、相次ぐ宿泊のキャンセルなどにより飛騨地域の主要産業である観光や経済にも深刻な影響を及ぼしています。
- ・ 下呂市小坂町門坂地区における早急な災害復旧をお願いします。

○ 国道 4 1 号の早期全線復旧の促進

- ・ 国道 4 1 号の不通により、高校生の通学をはじめ、住民の日常生活に大変な不都合が生じています。
- ・ 被災箇所が J R 高山本線にも影響を与えており、上記のような状態となっています。
- ・ 下呂市小坂町門坂地区における早急な災害復旧をお願いします。

○ 道路・河川等の災害復旧事業の促進

- ・ 国道 1 5 8 号、4 7 1 号といった主要道路をはじめ、道路や河川等では多数の災害が発生し、住民の日常生活に不都合が生じています。
- ・ 災害復旧のための十分な予算確保と地方自治体への支援等をお願いします。

○気候変動を踏まえた災害に強い河川整備の促進

- ・近年は気候変動により想定外の豪雨となることが多く、河川の氾濫などによる災害が多発しています。
- ・氾濫被害を防ぐための河床掘削、堤防強化などによる災害に強い河川整備をお願いします。

○災害に強い道路整備とネットワーク構築の促進

- ・近年は気候変動により想定外の豪雨となることが多く、土砂災害などによる道路の寸断が多発しています。
- ・道路法面・盛土対策、道路拡幅などの実施による災害に強い道路整備をお願いします。
- ・中部縦貫自動車道の整備推進など、災害時の迂回路等の確保も含め、機能的かつ効果的な道路ネットワークの構築をお願いします。

○強靱かつ持続可能な電気供給体制確立の促進

- ・近年は気候変動により想定外の豪雨となることが多く、土砂災害などによる停電（電気供給施設の被災）が多発しています。
- ・無電柱化の推進や危険木伐採の推進などによる災害に強く持続可能な電気供給体制の確立をお願いします。

○国土強靱化のさらなる推進

- ・防災・減災、国土強靱化のための3か年緊急対策（今年度が最終年度）が進められていますが、気候変動による想定外の大規模災害が後を絶ちません。
- ・防災・減災、国土強靱化のための緊急対策の継続実施をお願いします。

令和2年7月豪雨災害からの 早期復旧に関する緊急要望書



岐阜県 下呂市

令和2年7月豪雨災害からの早期復旧に関する 緊急要望書

本市の行政運営の各般にわたり、平素から格別の御高配を賜り、厚く御礼申し上げます。

さて、本市におきましては、去る7月7日から8日にかけての集中豪雨において、観測史上最多となる累積降雨量を記録し、市内各地において、浸水、土砂災害や河川の氾濫が発生しました。

幸い人命に関わる被害は確認されておりませんが、多くの住家被害が発生したほか、多数の道路、農地、農業用施設、林地、上下水道のライフライン等において甚大な被害が発生しております。

本市は、平成30年7月に発生した西日本豪雨でも甚大な被害を受け、国や岐阜県の手厚い御支援のもと、復旧復興に本格的に邁進しておりました中、再び大規模な災害を被ることとなりました。

また、下呂温泉をはじめ多くの観光資源を有し、観光を基幹産業としている本市は、一昨年災害に加えて、今春以降の新型コロナウイルス感染症の影響によっても地域経済全般に大きな打撃を受けており、今回の災害の影響は、計り知れないものがあります。

加えて、今回の災害では、飛騨地域の物流、観光の基幹交通網で本市の生命線とも言うべき国道41号及びJR高山本線が被災しており、本市のみならず、飛騨地域や岐阜県全体に対しても大きな影響を及ぼすことが強く懸念されます。

こうした状況の下、何にも優先して早期の復旧・復興に全力で取り組む所存でございますが、中山間地域に位置し、財政的にも脆弱な本市が迅速に復旧・復興を進めるためには、国及び岐阜県の格別な御支援が必要不可欠であります。

つきましては、こうした事情を御高察の上、下記の事項について格別の御高配を賜りますようお願い申し上げます。

記

- 1 災害復旧に係る膨大な財政負担の発生が見込まれる中、迅速に災害復旧事業に着手することができるよう、早期に激甚災害に指定していただくこと。
- 2 本市及び飛騨地域の観光、物流の基幹路線で、市民生活を支える重要路線でもある国道41号の大規模崩落箇所（下呂市小坂町門坂地内）について、仮復旧を含めて、早期復旧を行っていただくこと。
また、国道41号は、本市にとって唯一の基幹路線であることから、再度災害を発生させないよう防災対策や道路改良事業（屏風岩改良、門原防災など）を強力に推進していただくこと。
- 3 国道41号と同様に、本市及び飛騨地域の基幹交通であるJR高山本線も被災し、本市と高山市を繋ぐ交通網（鉄道・バス）がすべて不通となっている。特に、高山市内の高校への通学や二次医療機関である高山赤十字病院をはじめとする同市内の医療機関への通院等が極めて困難になっていることから、JR高山本線の早期復旧についても強力な支援を行っていただくこと。
- 4 今回の災害では、萩原町中呂地区において飛騨川の氾濫により床上、床下浸水が発生し、早急な治水対策が不可欠であることから、飛騨川圏域河川整備計画に基づき、飛騨川の河川改修事業の着実な実施について支援を行っていただくこと。

5 今回の災害では、山腹崩壊が土石流を招き、下流にある民家や道路に大きな被害を与えた。崩壊した山腹や河川は今後の降雨で再び氾濫する恐れがあり、住民は安心して生活することができないことから、砂防施設や治山施設の機能回復を急ぐとともに、新たな堰堤の整備など防災対策を推進していただくこと。

6 二回にわたる大規模災害及び新型コロナウイルス感染症により大きな打撃を受けている観光による商工業の本格的な回復に向けて、強力な支援を行っていただくこと。

また、今回の災害では、下呂温泉は大きな被害を受けていないが、一連の災害報道による風評被害が懸念されている。報道によって地域経済に更なる影響を与えることのないように、正確な情報の発信を行うよう報道機関に対して要請を行っていただくこと。

7 災害復旧に係る国庫補助・交付金について、迅速に事業採択していただくこと。

8 災害復旧に向けては、国庫補助・交付金の対象外となる事業をはじめ、多数の市単独事業の実施が必要となることが見込まれ、本市の財政負担も多額にのぼることが見込まれることから、特別交付税の優先的な配分につき、配慮いただくこと。

また、地方債の災害復旧事業に関して、一般単独、小災害の採択事務手続きの簡素化と農地、農林漁業施設の充当率の拡充につき、配慮いただくこと。

令和2年7月20日

岐阜県下呂市長 山内 登

